

ザ・シンフォニエッタ 第15回演奏会

The Sinfonietta 15th Concert

プログラム



● ハイドン作曲

交響曲第103番変ホ長調Hob. I-103

「太鼓連打」

(約30分)



~~~~~ 休 憩 ~~~~~

### ● シューベルト作曲

## 交響曲第9番ハ長調D. 944

### 「ザ・グレイト」

(約50分)

(終了予定：午後4時15分)

指 揮 / 藤 崎 凡

管 弦 楽 / ザ・シンフォニエッタ



## ごあいさつ

本日は、私共ザ・シンフォニエッタの演奏会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。  
ございます。

1986年1月の結成以来、私どもの演奏活動も17年目を迎え、ここ熊本県立劇場での演奏会も今回で15回目を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援・ご協力の賜物と心から深くお礼申し上げます。

今回は、オーケストラのみのプログラムで、ハイドンとシューベルトの交響曲を演奏します。ハイドンの交響曲は、第12回の演奏会で初めて第104番「ロンドン」を演奏して以来、2曲目になります。「ロンドン」が100曲を超えるハイドンの交響曲の集大成と言えるような非常に力が入った傑作であることと並んで、今回の「太鼓連打」もハイドンのユーモアのセンスと古典的な美しさが凝縮されたような素晴らしい作品で、改めてハイドンの交響曲の存在感を感じさせられます。

また、前回ロマン派のメンデルスゾーンの交響曲「スコットランド」を取り上げたのに続いて、今回はシューベルトの「ザ・グレイト」を演奏します。有名な曲なので皆さんご存知かとは思いますが、この曲は、名前のおりかなり大規模で、また、大変美しい曲です。以前第5回演奏会でも1度取り上げていますが、時をおいて再び演奏すると、以前とは少し違った魅力と難しさが感じられます。

指揮者の藤崎凡氏には第10回演奏会以来、6回連続でご指導を頂きますが、性格の全く違った2曲の交響曲を前にして悪戦苦闘する私どもに対して、いつもながら的確な指導を頂き、ハイドンとシューベルトのこれまでに感じられなかった魅力に触れることができたメンバー一同大変感謝しています。

私どもが今回の2曲に感じた魅力を皆様にもお伝えし、また、おひとりでも多くの方にご満足頂けますよう心をこめて演奏いたしますので、どうぞお楽しみ下さい。これからも私共ザ・シンフォニエッタにご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

2002年4月7日

ザ・シンフォニエッタ 代表 清 永 健 介

## プロフィール

### 藤 崎 凡 (ふじさき ぼん)

1957年東京生。慶応義塾大学を卒業後、桐朋学園大学音楽部にオーケストラ研究生（指揮専攻）として入学。在学中指揮を秋山和慶、小澤征爾、尾高忠明、高階正光、J・フルネの各氏に、ピアノを池田素子氏に、それぞれ師事。

1986年3月同課程修了。同年宮城フィルハーモニー管弦楽団（現、仙台フィルハーモニー管弦楽団）の指揮者オーディションに合格。1988年にはアメリカのタングルウッド・ミュージックセンターに留学、L・バーンスタイン、G・マイヤー等のクラスで研鑽を積んだ。帰国後は、創設間もないオーケストラ・アンサンブル金沢に招かれて多くのコンサートを指揮するとともに、新しいオーケストラの基盤づくりに貢献した。その後、群馬交響楽団と約3年間ほど同県内各地で子どものためのコンサートを行ったほか、各地のオーケストラや合唱団に招かれて多くのコンサートを指揮。一方、1990年からは洗足学園大学オペラ研究所の講師として学生の指導やオペラ公演の指揮などの分野でも積極的に活動している。



### ザ・シンフォニエッタ

結成から17年目を迎えた小編成のアマチュア・オーケストラ。この数年は継続して藤崎凡氏の指導を受けており、そのほかこれまでに山下一史、安永徹、篠崎史紀、小野富士の各氏をはじめとする、素晴らしい音楽家の指導を受けながら、常に演奏の質の向上を目指して一生懸命活動を続けています。

月2回の合奏の練習と随時のパート練習を行いながら、8～10カ月の間隔で熊本県立劇場での演奏会を行うほか、スクールコンサート等の活動を行っています。

ザ・シンフォニエッタ ホームページ <http://www5d.biglobe.ne.jp/~sinfonie>

## 曲目紹介

### § ハイドン作曲 交響曲 第103番 変ホ長調〈太鼓連打〉

1790年9月、ハンガリーの大貴族エステルハージ侯の宮廷楽団が解散した時、30年間も勤続した楽長ハイドン（1732～1809）は人生も秋を迎える58歳でした。その後、ロンドンで活躍中のプロデューサーが彼を訪れ、破格の条件でイギリス演奏旅行を持ちかけました。彼は考えた末、自分の可能性を試してみようと決意して、2回にわたるイギリス訪問を行い、大成功をあげました。2回の演奏旅行から12曲の新作交響曲が生まれ、これら12曲は、“ザロモン・セット”の通称で親しまれています。この第103番はティンパニのロール打ちから曲が開始されるために〈太鼓連打〉のニックネームを持っています。

#### \* 第1楽章

ティンパニの連打に続いて、重々しく神秘的な序奏が開始されるが、霧が晴れるように明るい雰囲気になっていきます。その後、弦楽器による明るく楽しい旋律が奏でられ、全体に広がっていきます。楽章の最後に、ティンパニの連打がもう一度できて、序奏を再現されるのが、大きな特徴となっています。

#### \* 第2楽章

ハ短調とハ長調の類似したふたつの主題による変奏曲です。途中で演奏されるソロヴァイオリンの3連音の装飾がとても美しい曲です。

#### \* 第3楽章

アウフタクト（曲の1小節めの強拍を導く）で開始される二分形式のメヌエットです。中間部（トリオ）も二部形式で第一ヴァイオリンとクラリネットが主旋律を歌っていきます。

#### \* 第4楽章

最初の4小節はホルンによる堂々とした導入です。フェルマータをおいて最初の主題がでます。その後、同じモチーフが変口短調に転じた2番目の主題も聴かれ、このふたつの主題を中心として Rond 風に展開していきます。

## § シューベルト作曲

### 交響曲第9番 ハ長調「ザ・グレイト」

普通第9番と呼ばれるこのハ長調の交響曲は、1828年3月、つまりシューベルトが世を去る8ヶ月前に完成されました。同年の12月15日に初演されることになりましたが、この作品があまりに長くかつ重いという理由で演奏を拒否されてしまいました。シューベルトの死後兄のフェルディナントによってこの交響曲が保管されました。1839年ウィーンに出たシューマンが、フェルディナントの許を訪ねて、この交響曲を見せられました。見せられたシューマンは歓喜のあまり身震いがしました。彼は、この交響曲の初演を友人のメンデルスゾーンにすすめ、1839年3月21日ライプティヒのゲヴァントハウス演奏会でメンデルスゾーンの指揮によって初演されました。

#### \* 第1楽章

牧歌的でいかにもロマン的なホルンの旋律ではじまる長い序奏を持つソナタ形式で、その旋律の冒頭の動機はこの交響曲のいたるところに現れます。主部はトランペットを伴う弦のいきいきとした第1主題に始まり、オーボエとファゴットが奏するメランコリックな第2主題はホ短調で示されます。そして展開部と再現部をへて、最後は序奏の旋律を力強く回想してこの楽章を閉じます。

#### \* 第2楽章

低弦が奏する導入的な旋律に続いてオーボエが哀愁をおびた美しい第1主題を歌います。第2主題は、チェロやバスを伴って第2ヴァイオリンが主奏し、やがて主部に戻ってきます。その直前の遠くから叫ぶように聞こえるホルンの響きについて、シューマンは「天上の賓客がオーケストラの中を忍び足で通って行くように、すべてが耳を澄ます」と書いています。そして第2部が繰り返された後、第1主題による比較的短いコーダによって静かにこの美しい楽章を閉じます。

#### \* 第3楽章

2つの主題を持ち、当時としては珍しくソナタ形式に近いスケルツォで書かれています。レントラー舞曲を思わせるイ長調のトリオを挿んで、主部が繰り返されます。

#### \* 第4楽章

1155小節におよぶソナタ形式の長大なフィナーレです。力強く始まり、それが高揚していった第1主題が現れますが、この主題も第1楽章の序奏の動機を秘めています。つづいて、喜ばしいト長調の主題が木管で示されますが、2つの主題はともに、この曲でのシューベルトの特徴のひとつである同音進行を持っています。そして、展開部、再現部とはてしない輪舞のように歓喜と陶醉を伴って流れ、躍動し、そこに短調の大胆な和声織りが織りなされます。第1主題を中心として拡大された大きなコーダによって、圧倒的なクライマックスを築いて全曲を閉じます。

## 出演者名簿

### § コンサートマスター

清 永 健 介  
廣 瀬 卓

### § 第1ヴァイオリン

泉 勇 気  
大 宮 伸 二  
岡 本 侑 子  
上 河 幸 彦  
定 永 明 子  
東 家 容 子  
古 市 敬 子

### § 第2ヴァイオリン

大 宮 協 子  
清 永 育 美  
田 中 唱 \*  
丁 睦 美 子  
中 澤 康 子  
山 口 祐 子  
山 下 純 子

### § ヴィオラ

和 泉 希 代 子  
太 田 由 美 子  
田 代 典 子  
辰 野 陽 子 \*

### § チェロ

石 垣 博 志 \*  
関 栄 典  
東 家 隆 典  
裕 本 幸 二

### § コントラバス

桑 原 寿 哉 \*  
歳 田 和 彦  
中 川 裕 司 \*

### § フルート

田 島 公 敏  
中 澤 邦 男

### § オーボエ

荒 田 優 子 \*  
石 田 栄 理 子 \*  
橘 徹

### § クラリネット

岡 村 ク ミ  
府 高 明 子

### § ファゴット

柴 田 義 浩  
星 出 和 裕

### § ホルン

伊 藤 友 美  
後 藤 滋 \*

### § トランペット

出 口 文 教  
福 島 敏 和

### § ティンパニ

福 島 好 \*

### § トロンボーン

児 嶋 美 穂 \*  
寺 本 昌 弘 \*  
右 田 順 二 \*

\* は賛助出演

## ザ・シンフォニエッタ第16回演奏会

### 次回の御案内

と き : 2003年2月23日(日)  
と ころ : 熊本県立劇場コンサートホール  
指 揮 : 藤 崎 凡  
曲 目 : 未 定

パンフレット・ポスター・チラシ  
フォーム伝票・カレンダー・名刺

# BC 柳山

〒860-0821 熊本市本山4丁目3-22  
TEL (096) 354-3515  
FAX (096) 354-3516  
E-mail: bc-k@crocus.ocn.ne.jp

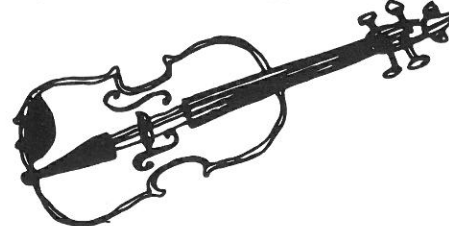
HAL 洋食屋  
TETSU  
レストラン  
慶徳再度店  
TETSU Koku Sise

〒860-0844 熊本市水道町4-1-1F  
TEL (096) 351-1358  
●営業時間 / 午前11:30~午後1:00  
●店休日 / 不定

〒860-0017 熊本市練兵町84-2-1F  
TEL (096) 355-4262  
●営業時間 / 午前11:30~午後2:00  
午後6:30~午後10:00  
●店休日 / 毎週日曜日

# バイオリンって 楽しいですよ

広瀬バイオリンスクール神水教室では  
幼児～大人までの方々がバイオリンを  
楽しんでいらっしゃいます  
ぜひ、あなたもバイオリンを弾いてみませんか



広瀬バイオリンスクール神水教室

熊本市神水1丁目8-9 みのりマンション402  
TEL&FAX. 096-352-9819

指導 広瀬 卓

日本弦楽器指導者協会会員  
The Sinfonietta コンサートマスター

今春、西部教室OPEN

\*西部教室 西バイパス・玉名線交差点近く  
\*神水教室 県庁正門近く

# LOVE LAND



草の根貿易

地球雑貨

らぶらんどエンジェル

〒862-0975 熊本市新屋敷1-9-7  
TEL/FAX 096-362-4130

◆きものリフォーム  
アジア雑貨◆



人吉温泉 かくれ里の湯 内

〒868-0813 人吉市矢岳町 3248  
TEL (0966) 23-1080

オフィス ケイ・ティのハーモニーは  
クラシックの世界を広げていきます

## オフィス ケイ・ティグループ

- ・オフィス ケイ・ティ音楽プロデュース  
(学校音楽鑑賞会、各種パーティー、イベント)
- ・クレモネーゼバイオリンショップ
- ・クレモネーゼバイオリン教室  
(バイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバス)

〒860-0842

熊本市南千反畑町 11-12-201  
(藤崎宮参道沿い)

Tel: 096-352-6284

Fax: 096-352-6286

ホームページ <http://www.office kt. co. jp>

いつでも、どこでも、思いのままに!  
サイレント楽器大好評発売中!!

バイオリン ￥69,000  
ピオラ ￥80,000  
チェロ ￥198,000  
コントラバス ￥320,000

すべて本体価格で、ケース等は別売となります。

## (株)大谷楽器

熊本市上通町7-1 TEL 096-355-2248  
<http://www.otanigakki.co.jp/>

熊本上通  
路地裏界限  
遊・楽・歩・食  
酒・肴・飯・菜  
壺之倉庫  
さくらさくら  
式ノ式

# CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS



Matteo Goffriller

Domenico Montagnana



Giuseppe Guarneri del Gesù Giuseppe Antonio Rocca

シャコンヌでは、楽器をはじめケースや部品  
等を直輸入し、当社の優れた技術で修復、調  
整の上御紹介しております。また、これらす  
べての商品に大変お求めやすい独自のシャコ  
ンヌ・プライスを設定しております。  
高額の楽器、弓に対しては可能な限りの責任  
を意味する当社の鑑定書を発行し、買取り下  
取りを保証しています。

東京海上、千代田火災から認可された保険代理店と  
して万一の事故、盗難に備えた動産総合保険をサー  
ビス致します。室内楽コンサートの主催、当社スタ  
ジオにおける公開レッスン、弦楽に関する楽譜や書  
籍等もご利用下さい。また、関連会社カノンでは演  
奏会・コンサート等においてご利用いただける最高  
級名器をリーズナブルな料金にてレンタルいたしま  
す。お気軽にお問い合わせ下さい。

## (株)シャコンヌ

楽器直輸入・修理、調整  
楽譜・鑑定・楽器保険  
楽器レンタル

(株)シャコンヌ

【名古屋本店】名古屋市中区大須3丁目31-22 明治生命上前津ビル4F ☎052(241)1779

【東京吉祥寺店】東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル9F ☎0422(23)1879

【金沢店】金沢市広岡1丁目212番地 AGS IIビル502号 ☎0762(21)1779

【九州小倉店】北九州市小倉北区京町4-5-27 ステーションプラザ小倉駅前5F ☎093(531)2672

【札幌店】札幌市中央区北3条西1丁目1-1 ナショナルビル2F ☎011(221)2561

(株)カノン 名古屋市昭和区単人町9-1 ロイヤル杖中2F ☎052(834)4911

北京弦芸楽器有限公司(ストリング・アート・カンパニー) 北京・中央音楽学院内

営業時間 10:00~18:30 日・月定休